

---

# ロウきゅーぶ

DJコンドル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ロウキゅーぶ

### 【コード】

N6339V

### 【作者名】

DJコンドル

### 【あらすじ】

ロウキゅーぶにオリ主を入れて最強にしてみた

## 第一話（前書き）

空港にて

「ふう」

少年は帰ってきた。

新しい生活に期待と夢とほんの少しの不安を抱えて。

七芝高校にて

「くそっ！」

少年は苛立っていた。

自身の境遇と不運と社会の理不尽を目の当たりにして。

## 第一話

長谷川昴の一日

朝のとても早い時間に彼は起きていた。

「・・・」

だかしかし、何をするわけでもなく寝転がっている。

そして、時間になると準備をし、朝食を取り、学校へと出発する。

学校で授業を受けるがどこか上の空で頭に入らず。

放課後になればゆっくりと帰る準備を整え、帰路にたつ。

本当はなかったはずの日常

しかし彼にとってはこれが今の日常

退屈で輝きのないつまらない日常

何故こうなったのか

それはこの間の部活で副キャプテンの言った一言

『バスケ部は一年間の部活動停止になった』

何故休部となってしまうたのか。

それはキャプテン（元）水城新の小学生と恋仲になってしまった大事件によるところが多い。

「くそっ！」

本当なら部活だったこの時間。

朝だってそうだ。朝早くに起きたのはただ寝転がっている為ではない。

昼だって放課後の部活のためにコートをもップがけしていたかもしれない。

大好きなバスケの為にいやせたはずの時間。

「はあ」

（もう、やめようかな）

そんなことを考えながら自宅のドアを開ける。

そこから先が新しい日常に繋がっていると知らずに。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6339v/>

---

ロウきゅーぶ

2011年10月9日13時41分発行